

# 地域の庭として人々が集い憩える公園

## —野草園や花を基調とした公園—

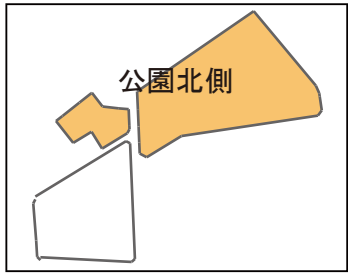
### 区画配置案（公園北側）

#### 基本方針

- ①子どもからお年寄りまで、地域の人々が集い賑わう公園
- ②交流の促進と地域の活性化に寄与する公園
- ③特色のある野草園や花などを活用した話題性のある公園
- ④老朽化した施設の改修と安全性に配慮した誰もが使いやすい公園

#### 整備方針

- ・各世代が安全かつ快適に利用できるように、幼児・小学生・高齢者など利用者ごとにゆるやかに区画を分ける。
- ・公園のまわりで散策やジョギングができるように周遊園路を整備する。
- ・高架下は全体を一体の歩道とし、植栽と舗装で明るい空間にする。



#### 木もれ日の健康増進ひろば

- ・緑を多く配し、落ち着いた空間に整備する。
- ・木立の中で散策、休憩、軽い運動ができるようなスペースとする。



木もれ日の小道



健康増進ひろば

#### ちびっこふれあいひろば

- ・幼児や保護者、高齢者が世代を問わずなごめる休憩スペースとする。
- ・砂場、幼児用遊具などの他、保護者の方々が子どもを見守りながら集えるベンチなど地域の子育ての場とする。



幼児用複合遊具



パーゴラ下のベンチ



砂場

#### みんなのかだんロード

- ・地域の方が主体となり協働で生き生きと活動する場を創出する。
- ・駅までの通学・通勤者の通り道として、歩道のように気軽に通れるスペースとする。
- ・植栽を整理し、歩行者が利用しやすく歩きやすい空間にする。



明るい草花で彩る広々とした園路



地域の花壇活動



出入口近くに設けた駐輪場



#### 東の入口ひろば

- ・小中学校・マンション・駅側からの主要な出入口にふさわしい空間に整備する。
- ・園内への乗り入れ防止のために広めの駐輪場を設置する。
- ・公園の顔となるような花壇等をつくり地域の交流の場となるように整備する。



広々として入りやすい入口



はなやかな草花



的確な園内案内

#### わんぱく桜ひろば

- ・子ども達が駆けまわって遊べる広場とする。
- ・高架下周辺には幼児用遊具を設置する。
- ・桜をなるべく残し、開花時期にはお花見のスペースを広く取れる空間とする。



緑陰の中を駆け回れる広場



ネットで囲われたボール遊び場



幼児用複合遊具



子どもたちの冒険心をくすぐる遊具



地域のお祭りの会場

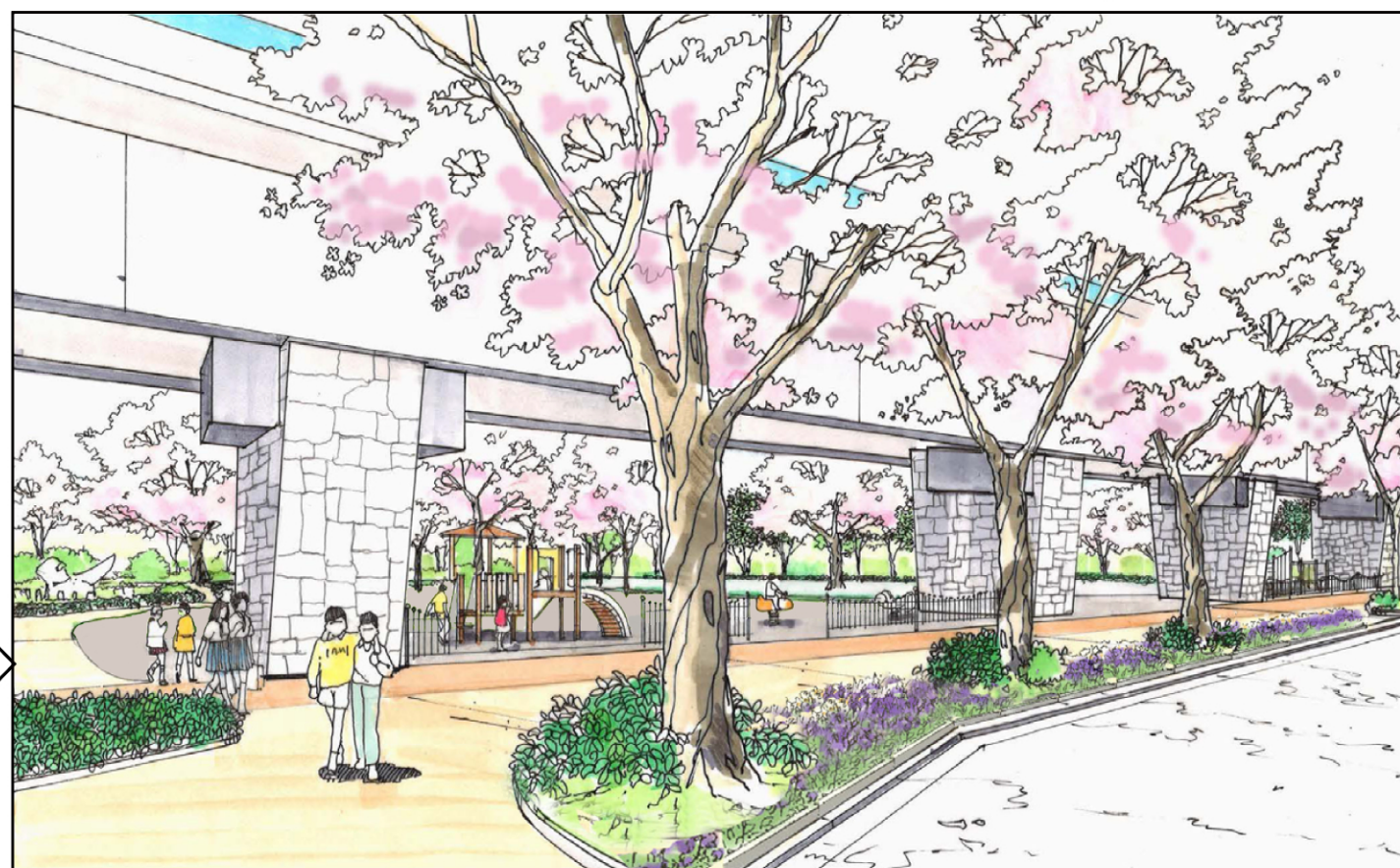
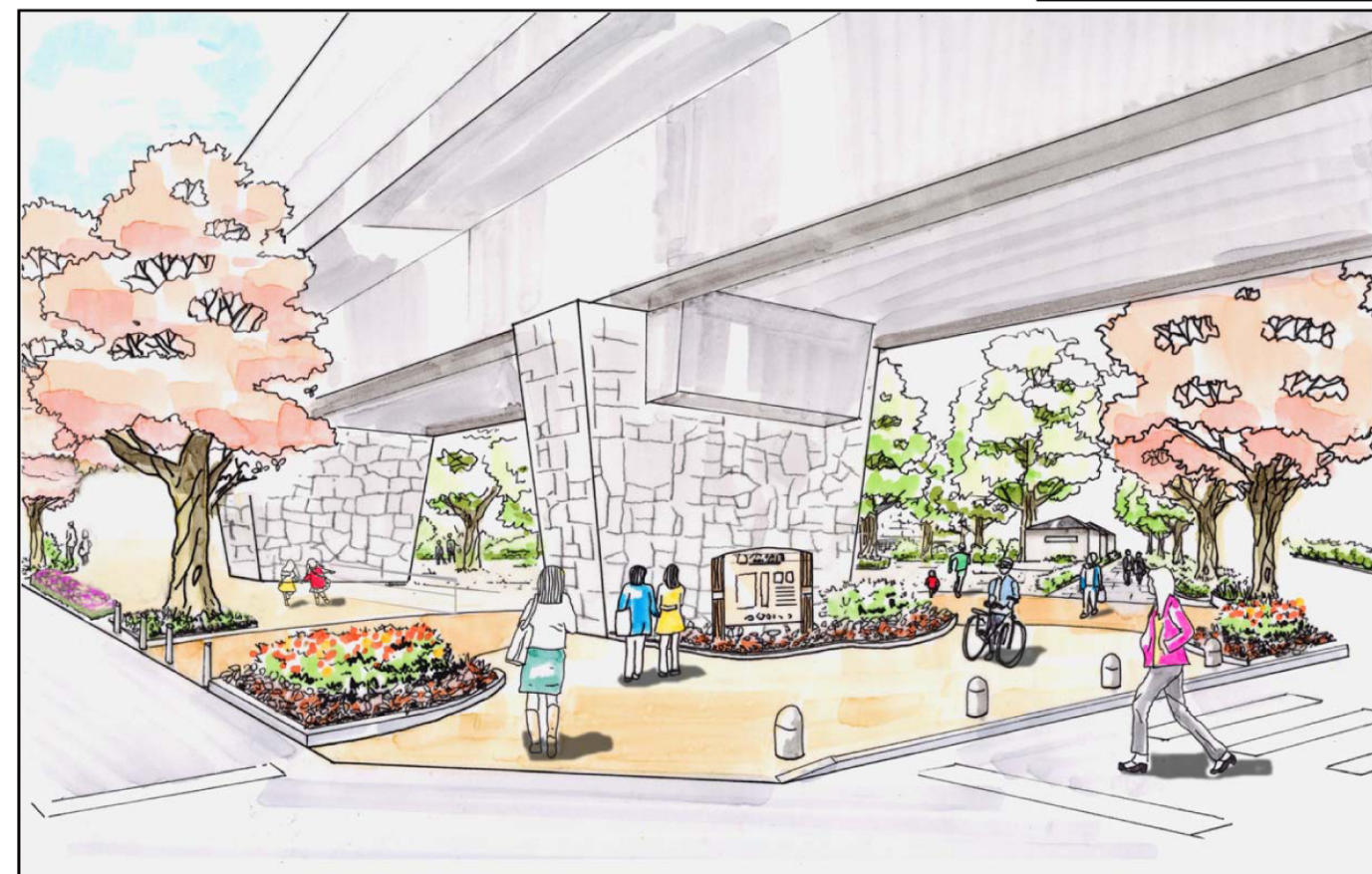
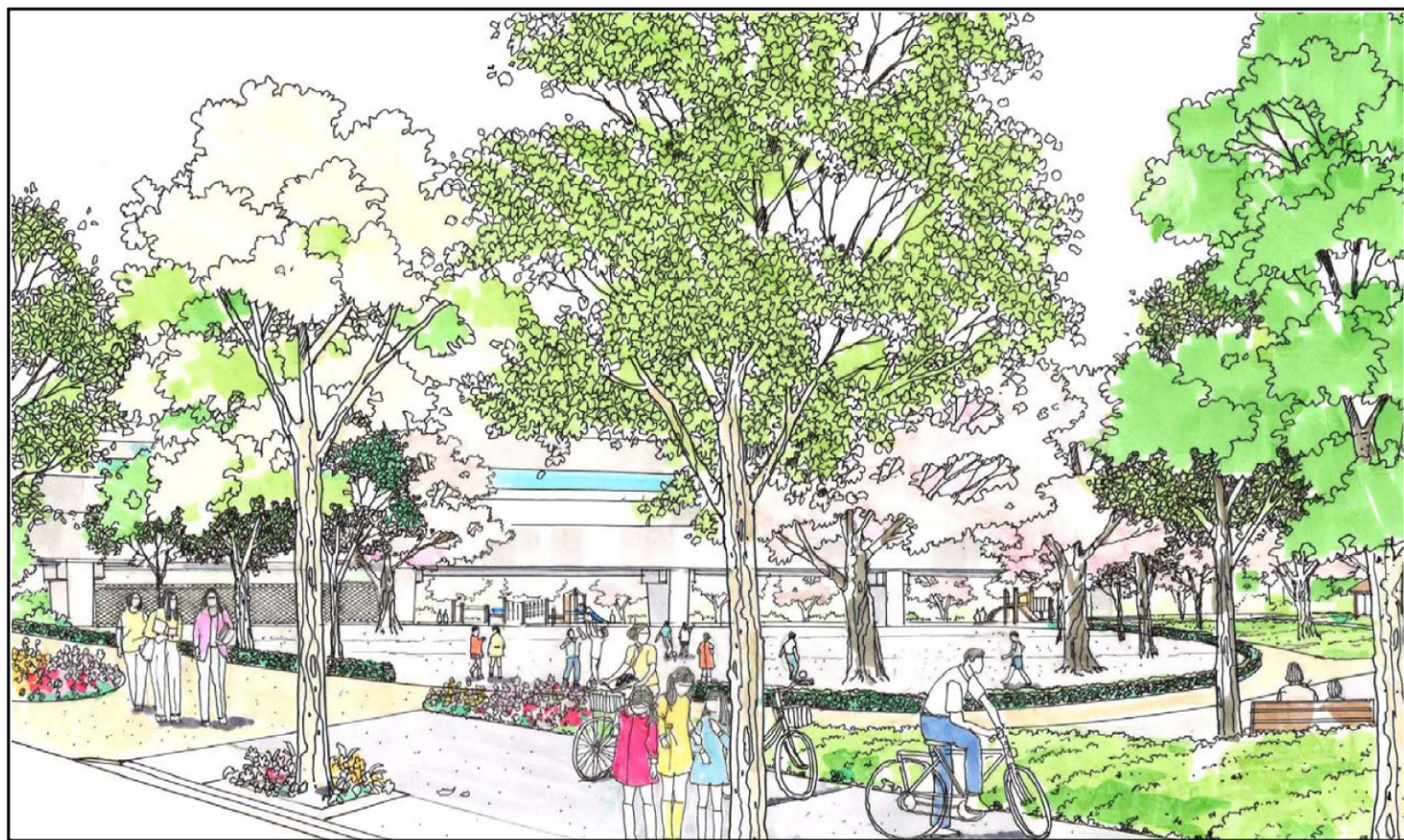
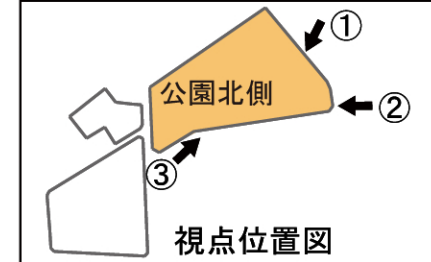


だれでもトイレ





# 公園北側 整備イメージ





# 公園北側 植栽イメージ

- ・ 東の入り口広場など公園の玄関口は、華やかで人の目を引く話題性のある植栽計画とする。
- ・ 病虫害に強く、緑陰や高架下には日陰でもよく育つものを選定する。
- ・ 高木は既存のものも活かしながら、四季の彩り、移り変わりを五感で楽しめるよう植栽する。

**高木** ・既存の高木や、四季を意識できる樹木を中心に植栽する。

既 存					新規植栽					
ケヤキ	クスノキ(常緑)	サクラ	キンモクセイ(常緑)	ヤマモモ(常緑)	コブシ	シモクレン	サルスベリ	ギンモクセイ(常緑)	ボケ	ハナモモ

**中低木** ・隣接するマンションや住宅との敷地境界付近には生垣・低木を植栽し、プライバシーに配慮する。  
 ・公園内は見通しを良くするため、あまり大きくならず刈込みに耐えるものを選ぶ。

ヒサカキ(常緑)	ドウダンツツジ	ツツジ類(常緑)	トキワマンサク(常緑)	アジサイ	クチナシ(常緑)	ジンチョウゲ(常緑)	ハナズオウ	ヤマブキ	コデマリ	コムラサキ

**地被** ・樹木の根元等には緑陰でも育つ植物を植える。

フッキソウ(常緑多年草)	オオバジャノヒゲ(常緑多年草)	ヤブラン(常緑多年草)

**花壇** ・日陰でも育ちやすく、毎年楽しめる多年草を中心に植える。

ミヤコワスレ(宿根草)	スイセン(宿根草)	ミヤマオダマキ(宿根草)	キキョウ(多年草)	アヤメ(宿根草)	キチジョウソウ(常緑宿根草)	シャガ(常緑宿根草)



# 公園北側 遊具イメージ

## 幼児用遊具 (3歳~6歳)



## 健康遊具



## 児童用遊具 (6歳~12歳)



様々な遊具がありますが、説明会などでご意見を聞きながら設置する遊具を選定します。



# 野草園 主な植物と概況について

- 野草園内の植物は377種（高木80種、中低木154種、地被類143種）の植物で構成されている。
- 植物の他に、爬虫類や昆虫も生息し、野草園内で繁殖している様子も確認された。

## 【野草園の概況】

- 鎌倉野草園は多種多様な植物で構成されているため、食草となる種類も多く、多様なチョウ類が観察される。ジャコウアゲハはウマノスズクサを食草とするため、その食草の生育地周辺でしか確認されないチョウである。一般に1000㎡程度の公園緑地ではあまり観察されないキアゲハ(食草はセリ科)の繁殖もみられる。
- 東京都(23区)で準絶滅危惧に指定されているアズマヒキガエルが観察されたことから、アズマヒキガエルの繁殖地としても重要な緑地となっていると推測される。
- 水槽や池と水草(ヒシ等)が存在する環境となっていることから、止水性のトンボ類の繁殖にも適している。

### 野草園で観察された生物(例)



## 【野草園の植物に関する課題】

- ① 植栽してから年数が経ち、追加で植栽したものや、持ち込まれた植物等も加わり雑多な印象となっている。(テーマやゾーンが分かりにくい)
- ② シュロやセンダン、ササ等の生長が他の植物の衰退の要因となっている。また、新たに植栽できる場所も少なくなっている。
- ③ 旧要注意外来生物(オオカナダモ、キショウブ、トウネズミモチ、アメリカザリガニ)、特定外来生物(オオフサモ)、侵略性の高い外来ヌスビトハギは、除去中であるが未だ園内に生息している。
- ④ 高木が生長することで、中低木や草花の生育阻害や、隣地への影響等(根が路盤を持ち上げたり、枝が電線に接触する等)が懸念される。



**[A]**  
 主要な種構成  
 中高木: クリ、クスノキ、サクラ、ツバキ  
 低木: ドウダンツツジ、レンキョウ、ムレスズメ等  
 地被: シラン、ジャーマンアイリス、シダ、ヒガンバナ等  
 概況  
 南側は明るくシランやトススキ等が植栽され、北側は暗くシダやヒガンバナが生育している。



**[B]**  
 主要な種構成  
 中高木: クリ、マテバシイ、ムクノキ、ケヤキ、エゴノキ等  
 低木: アンサイ、マンリョウ、ハコネツグキ等  
 地被: オカメザサ、ハラン、ヒガンバナ、カンアオイ  
 概況  
 北西側は部分的に明るくトススキ等が植栽されているが、他の林床は暗くオモト等の耐陰性のある草花が生育している。



**[C、鉢1、鉢2]**  
 主要な種構成  
 中高木: ケヤキ、アキノレ、イチヨウ、ホテイシチ  
 低木: イヌツゲ、トハラ  
 地被: シラン、ミスヒキ、ヤブラン、ホトトギス、水草  
 概況  
 大木のケヤキや竹林が屋敷林の様相。管理ヤードとして、植木鉢や水槽に個体数の少ない草花等が維持されている。



**[D]**  
 主要な種構成  
 中高木: 該当なし  
 低木: サウラ樹芸種、サラサウツギ  
 地被: アヤマ、ミソハキ、キチジョウソウ、ハス等  
 概況  
 ハスやスイレンが植栽された鉢が置かれ、その周りにミソハキ等、陽地性の草花が生育している。



**[E]**  
 主要な種構成  
 中高木: 該当なし  
 低木: セイヨウシャクナゲ、ムクゲ  
 地被: スマトラノオ、シラン、シベラス等  
 概況  
 陽地の環境にあり、湿った場所に生える草花の割合が多く生育している。



**[F]**  
 主要な種構成  
 中高木: フヨウ  
 低木: ジャスミン、クス  
 地被: キチジョウソウ、キクモ、フジバカマ等  
 概況  
 ジャスミン等の蔓性植物のほか、アマドロ等の陽地性の草花が生育している。



**[G]**  
 主要な種構成  
 中高木: ウコンサクラ、カリン  
 低木: ミヤギノハギ  
 地被: ハナトラノオ、カンナ、ノカンゾウ等  
 概況  
 カンナやハマユウ等の花が華やかな草花が植栽されているが、ウマノスズクサやヒトリシヨウゴ、ウト等の地味な山野草も生育している。



**[H]**  
 主要な種構成  
 中高木: カキ、ネムノキ、ウメ、アカカシワ  
 低木: ムクゲ、ツバキ、サラサウツギ  
 地被: ナカリヤス、ヤブマオ、トクサ、ホトトギス  
 概況  
 半日陰から日陰地にあり、中高木の草花が生育している。



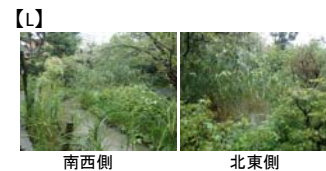
**[I]**  
 主要な種構成  
 中高木: マテバシイ、ムクノキ、カキ、エノキ  
 低木: ツバキ、キンバイカ、ホケ、アンサイ  
 地被: シオハラザサ、トクサ  
 概況  
 中高木の樹冠により林床は暗く、ササが密生している。



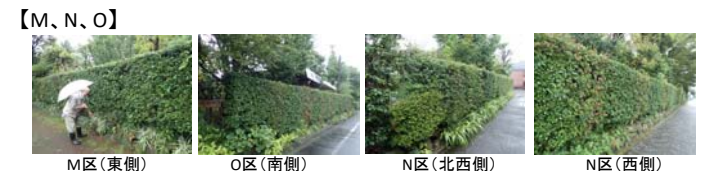
**[J]**  
 主要な種構成  
 中高木: 該当なし  
 低木: ネムノキ、アケビ、ツタ、ブルーベリー  
 地被: キク類、水草  
 概況  
 やや半日陰地の植込みとなっている。



**[K]**  
 主要な種構成  
 中高木: シダレヤナギ  
 低木: ビラカンサ、イヌマキ、ヒノキ  
 地被: ナキリスガ、キキョウ、ススキ、チガヤ等  
 概況  
 水路沿いにキキョウ等の草原性の野草と、水路内に湿性植物が植栽されている。



**[L]**  
 主要な種構成  
 中高木: 該当なし  
 低木: ネコヤナギ、クロネコヤナギ、イロハモシ  
 地被: ウキヤカラ、コバキホウシ、ハンゲショウ等  
 概況  
 水辺の周辺にヤナギ類や湿性植物が植栽されている。



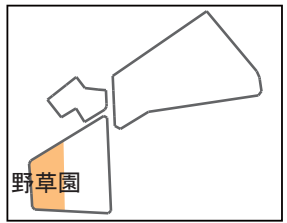
**[M、N、O]**  
 主要な種構成  
 中高木: 該当なし  
 低木: サザン、カナメチ、イヌツグ、ドウダンツツジ  
 地被: ヤブラン、ノカンゾウ、シラン、ムラサキツクサ等  
 概況  
 外周柵沿いの刈り込まれた生垣の足元の石積に、斑入りヤブラン、シラン、ノカンゾウ等が植栽されている。



# 地域の庭として人々が集い憩える公園

## —野草園や花を基調とした公園—

### 区画配置案（野草園）



#### 基本方針

- ①子どもからお年寄りまで、地域の人々が集い賑わう公園
- ②交流の促進と地域の活性化に寄与する公園
- ③特色のある野草園や花などを活用した話題性のある公園
- ④老朽化した施設の改修と安全性に配慮した誰もが使いやすい公園

#### 整備方針

- ・既存の植物を生かしつつ、季節感のある野草中心の植栽計画とし、四季を感じられるスポットとする。
- ・野鳥や昆虫等の生物が生息できる草地や樹木に配慮する。
- ・現状を活かしながら、車いすでも通りやすくバリアフリーに。
- ・園内の景色を眺めながら休憩等ができるスペースや、活動場所の設置。
- ・周辺や、かなえ通りから野草園を見つけやすくする。
- ・プール跡地側に広げる。(面積 約940㎡→約1300㎡)

#### 植栽整備方針

- ・在来種(※1)や貴重な種、季節の見所となる種の野草を植栽のメインとして配する。(その他残ったスペースに既存の園芸種等を配する。)
- ・他の植物を大きく被圧してしまうもの(クズ等)、生態系被害防止外来種(トウネズミモチ等※2)は除草、撤去とする。
- ・野鳥や昆虫等の生物が生息できる草地や樹木に配慮した維持管理とする。(農薬使用の制限、草刈り時期の調整等)

※1 在来種は東京都環境局「平成26年「植栽時における在来種剪定ガイドライン」を参照  
 ※2 生態系被害防止外来種:東京都環境局「生態系被害防止外来種リスト」を参照

#### ① 常緑高木の背景緑地

休憩所から見た景色の遠景を形成すると共に住宅地側から遮蔽する。



#### ② 小川(下流部)

溜池を小川に見立てた下流部。幅が広い部分に小さなヨシ原をつくる。



#### ③ 藤と山野草の小道

藤棚を主役とし、足元を山野草で彩る。かなえ通り側の生垣を低くし現状よりも開放感を出す。



#### ④ 野草の花壇

かなえ通りから野草園を見つけやすくするため、角地に野草中心の花壇を設ける。



#### ⑤ 小川(上流部)

溜池を小川に見立てた上流部。少し大きめの既存の景石などを用いる。



#### ⑥ 木蔭の休憩所

野草園全体を眺められるビュースポット。ここを基点として小川を中心とした景観をつくる。



#### ⑦ 馴染みの庭木と草花

メインの出入口付近として開けた明るい空間とする。裏庭をイメージさせる植栽とする。



#### ⑧ 水辺の草地

土手野原をイメージした空間とする。野草園内のシンボルツリーとも言えるウゴンザクラや、フユザクラを活かす。



#### ⑨ 管理事務所 兼 集会所

野草園の雰囲気と調和した建物を整備する。小舞台を設け、イベントなどで活用できるようにする。



#### ⑩ 里山の雑木林

里山の景観をつくってきたコナラやクヌギなどを植え落葉樹の明るい空間とする。



#### ⑪ 湿地と水瓶

水辺の湿地・湿原をイメージした空間とする。水瓶ではヒツジグサなど水生植物を育てる。



車いすでも通行しやすいバリアフリーの園路



地域と協働で行う野草園の管理



野草をつかった花壇(かなえ通り側は生垣を低くし見つけやすく入りやすい雰囲気)



水辺を活かした景観づくり



園内の景色を眺められる休憩所



野草園の成りたちや草花の紹介

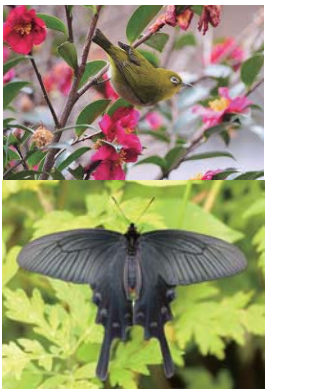


集会所での地域活動



小舞台

野草園の雰囲気と調和した管理事務所・集会所



多様な生きものが生息し観察や学習の場にもなる





# 地域の庭として人々が集い憩える公園

## - 野草園や花を基調とした公園 -

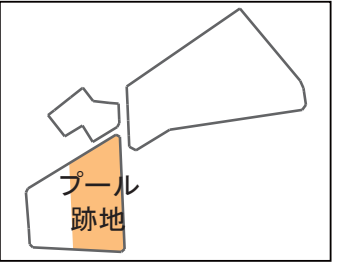
### 区画配置案（プール跡地）

#### 基本方針

- ①子どもからお年寄りまで、地域の人々が集い賑わう公園
- ②交流の促進と地域の活性化に寄与する公園
- ③特色のある野草園や花などを活用した話題性のある公園
- ④老朽化した施設の改修と安全性に配慮した誰もが使いやすい公園

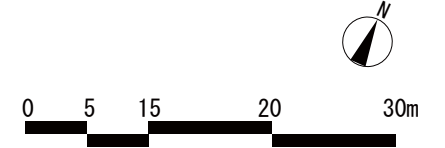
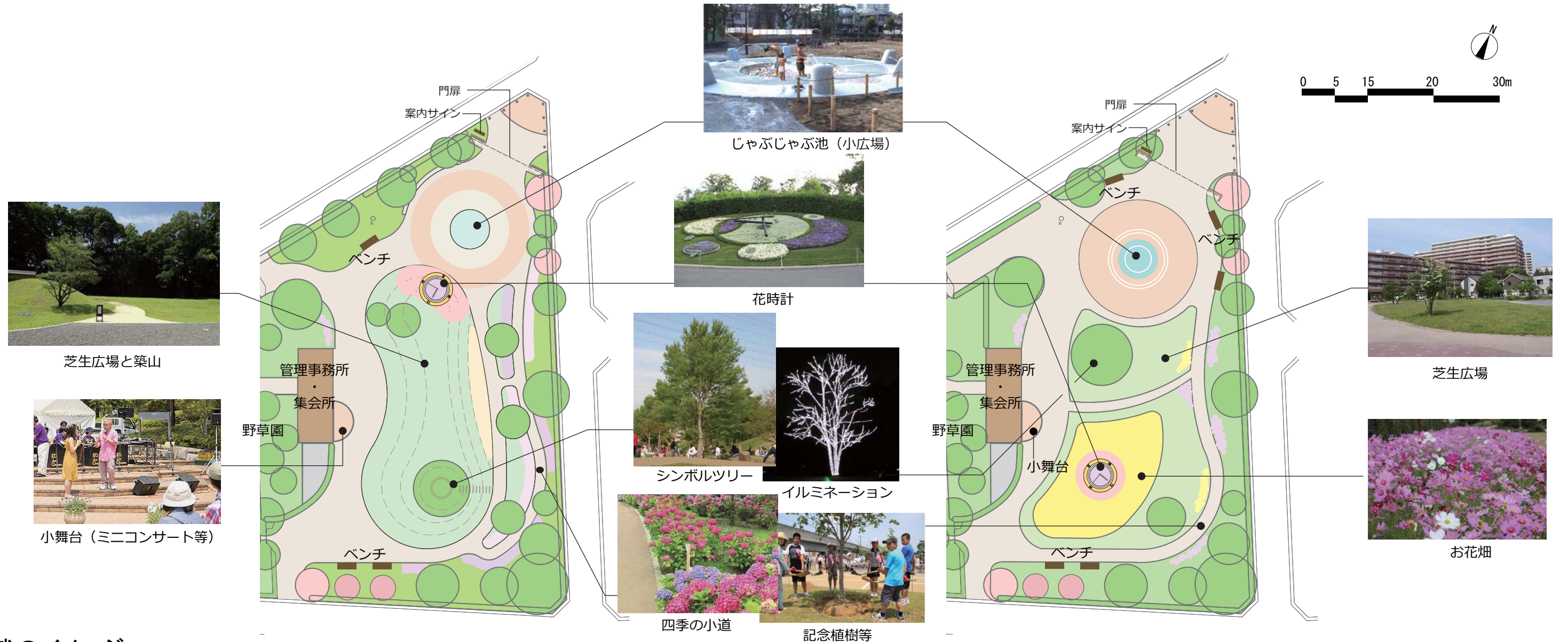
#### 整備方針

- ・野草園と一体的に、地域の交流、観光等に寄与できる計画とする。
- ・親水施設を設け、夏場に親子の憩いの場となるよう整備する。
- ・シンボルツリーを植え、地域の庭となるよう整備する。
- ・鎌倉という地名を生かし、アジサイを中心とした四季を感じられる植栽計画とする。



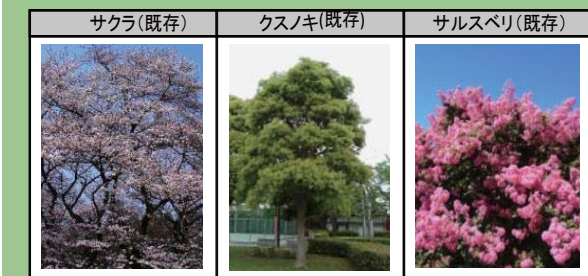
### A案：芝生築山とじゃぶじゃぶ池を配した庭園風の案

### B案：芝生広場やお花畑、じゃぶじゃぶ池を配した原っぱの案

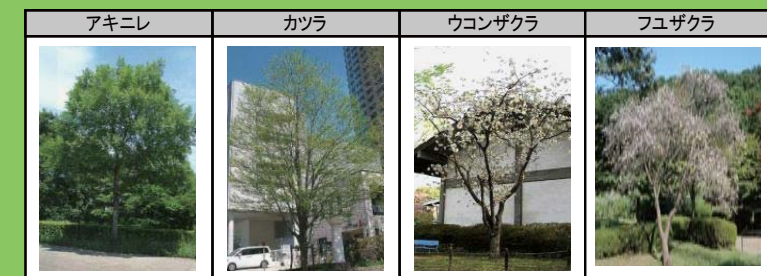


植栽のイメージ ・プール跡地では、公園北側の植物に以下の樹木等を追加した計画とする。

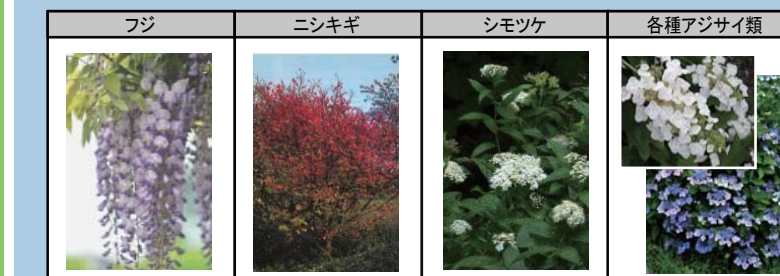
#### 高木 ・下記既存木に加えて四季を感じる樹木を追加する。



#### シンボルツリー ・季節感のある中心的な木を選ぶ。



#### 中低木 ・和の彩りや四季の変化を感じる樹種を加える。

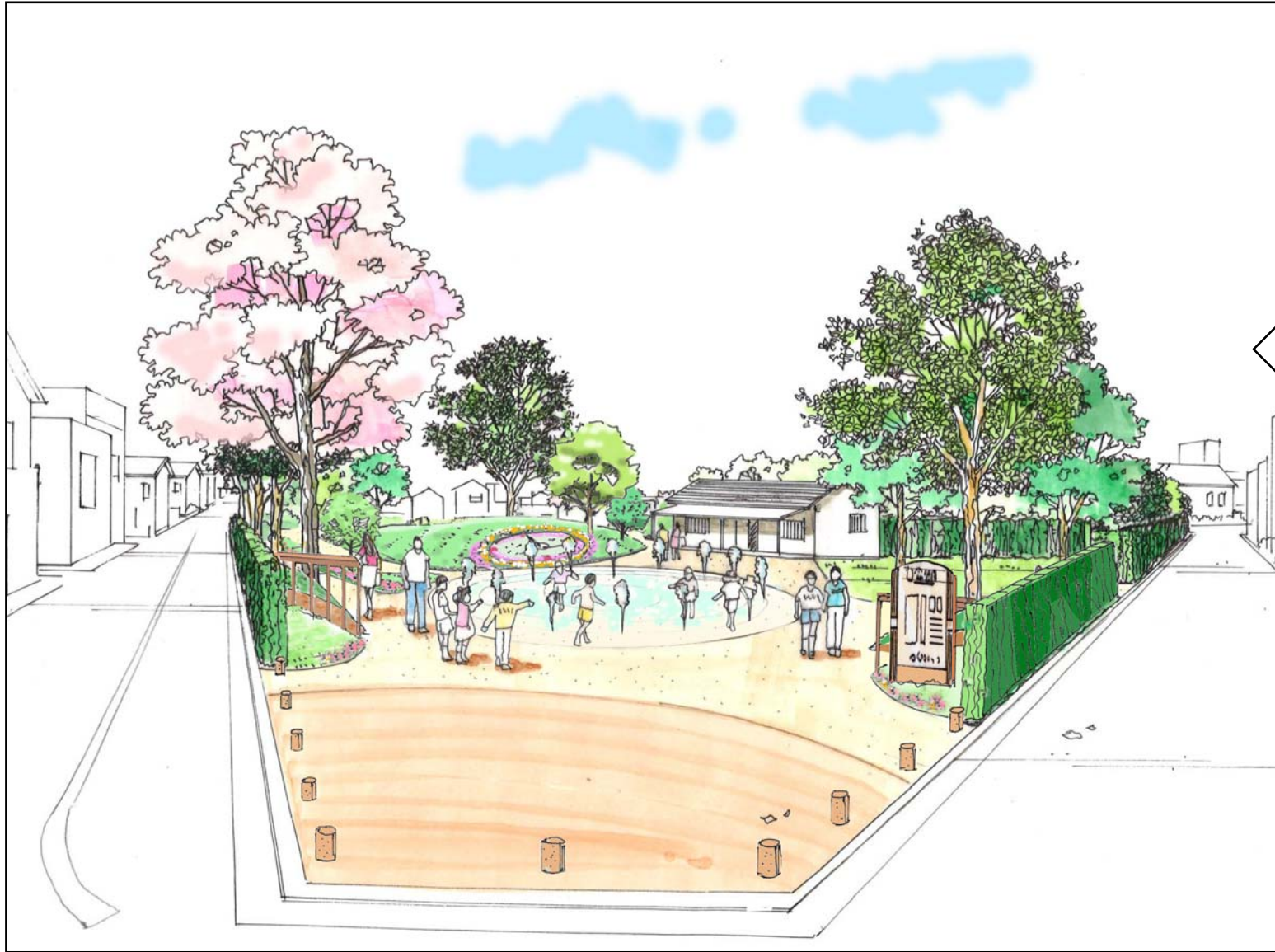
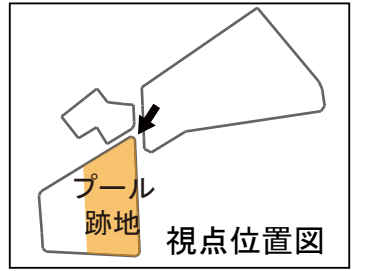


#### 花畑(B案) ・季節ごとに鑑賞を楽しめ、育てやすいもの。

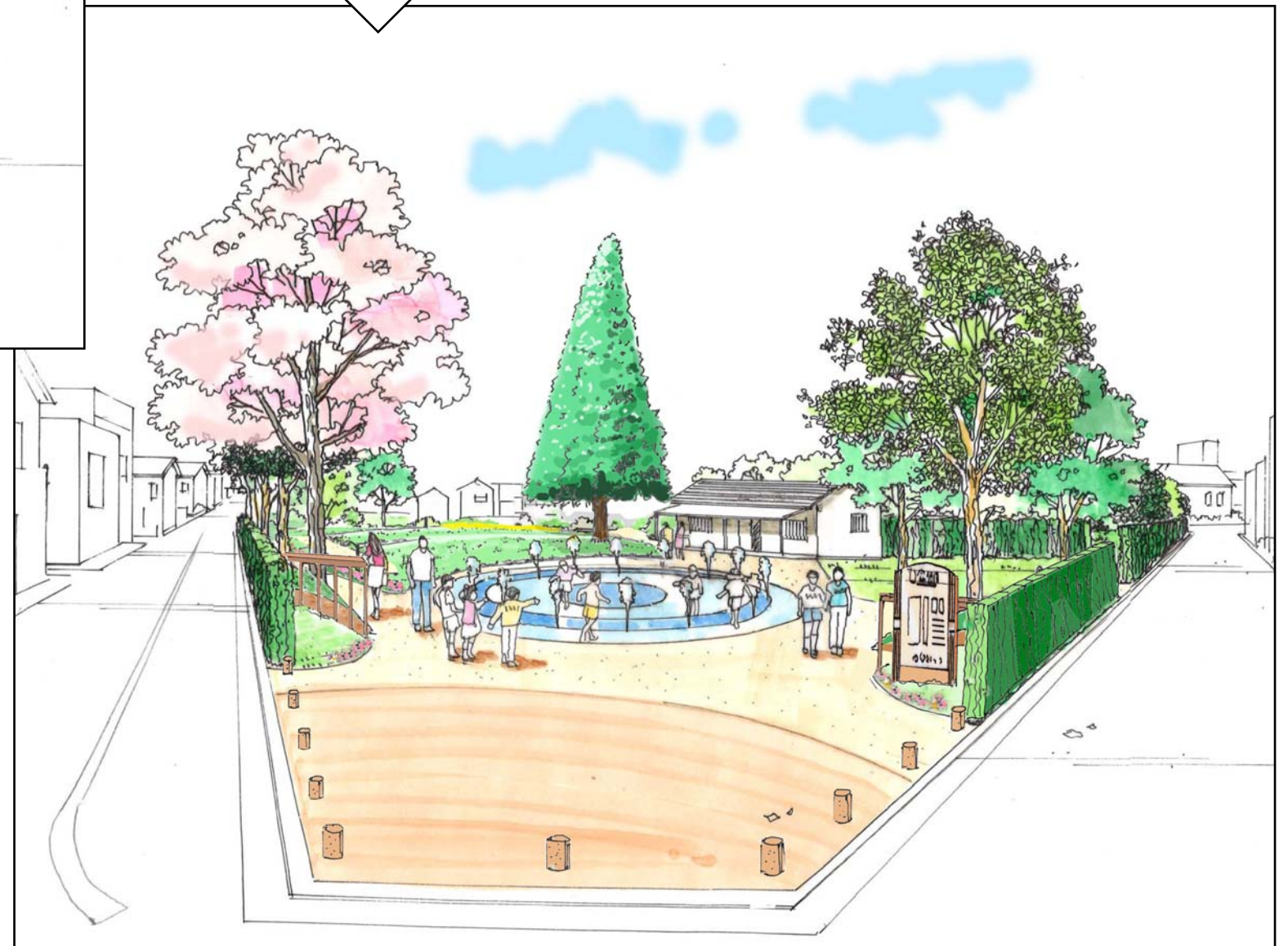




# プール跡地 整備イメージ



**A案 芝生築山とじゃぶじゃぶ池を配した庭園風の案**



**B案 芝生広場やお花畑、じゃぶじゃぶ池を配した原っぱの案**